

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)摩耶シティB-2街区 新築工事	階数	地上10階
建設地	兵庫県神戸市灘区5丁目5-7番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・準防火地域	平均居住人員	375 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年4月20日
敷地面積	4,444 m ²	作成者	株式会社アクアス 杉谷泰
建築面積	1,185 m ²	確認日	
延床面積	9,604 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

音環境: 3.4, 温熱環境: 3.7, 光・視環境: 3.8, 空気質環境: 4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性: 3.8, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の: 4.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.0, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 4.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化: 3.3, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.1

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
	Q-2/2.4 信頼性 2.4	
配慮の概要 建物内部への動線にはスロープ・手摺を設けるなどして、高齢者等の利用者が安全且つ円滑に利用できるよう配慮しています。	配慮の概要 耐久性・耐火性に配慮し、鉄筋コンクリート造としています。東西に長い建物となるので、EXP-Jを設け構造的に分離し、構造計画上安全な建物となるよう配慮しています。	配慮の概要 長大な壁面とならないように建物を2つのブロックに分け、圧迫感を軽減した配棟としています。また、敷地周囲には、植栽を配置し、景観への配慮を行っています。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される